



ジャン=バティスト=ガミ=ユ=コロ= (サン=ニコラ=レ=サラスの川辺) 1872 年



ウィリアム=ブ=グロ= (愛しの小鳥) 1867 年

山寺 後藤美術館所蔵 ヨーロッパ絵画名作展 ~ 宮廷絵画からバルビゾン

史跡と景勝の地、山形県山寺に設立された山寺・後藤美術館は、魅力的で特色あるコレクションで知られています。同館が所蔵するヨーロッパ絵画から、名品58点をご紹介します。

太陽王ルイ十四世の時代、フランスはヨーロッパの政治、文化の中心地となりました。王侯貴族の求めに応じて数々の壮大な歴史画や華やかな肖像画が描かれ、宮廷を彩りました。また、美術の権威を高めるべく設立され、美術教育機関としての役割を担ったアカデミーは、理想的な美の表現を追求してきました。19世紀半ばに入ると、アカデミーの規範や急速に近代化する都市生活を離れて、田園風景や農村の暮らしを詩情豊かに描くバルビゾン派の画家たちが登場します。

本展では、18世紀ブルボン王朝の優美を伝えるロ可可から19世紀のアカデミズム、そして、コロ、ミレー、ルソーらバルビゾン派の傑作を中心に構成されます。さらに、周辺のヨーロッパ諸国で制作された珠玉の名品がこれに加わります。ドラマティックなバロック様式によるスペインの宗教画、みずみずしい自然をとらえたオランダの風景画、そして、繊細な描写が際立つイギリス絵画など、一つ一つの作品が、画家たちの確かな技巧と、それぞれの時代や地域性を伝えてくれます。本展がヨーロッパ美術の輝かしい伝統にふれる機会となればと願います。



ジャン=バティスト=グロ=ズ (小さな数学者)

2007.9.15(土)~10.28(日)



エドワード=ジョン=ポインター (ミルマン夫人の肖像) 1877 年



ジャン=フェルディナン=シェニエ
(バルビゾンの野の羊飼いとその群れ)



コンスタン=トワヨ=ン (小川で働く人々)



ジョセフ=マラード=ウィリアム=ターナー (ウスターシャーの眺め) 1794 年

主催 / 丹波市教育委員会
・丹波市立植野記念美術館・神戸新聞社
後援 / 兵庫県・兵庫県教育委員会
・NHK 神戸放送局・サンテレビジョン
・丹波新聞社
協力 / 山寺 後藤美術館

開館時間 / 午前 10 時から午後 5 時
(入館は午後 4 時 30 分まで)
休館日 / 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日)
入館料 / 大人 600 円、大・高校生 400 円、
小・中学生 200 円
(ココロンカード利用可、20 名以上団体割引)

丹波市立 植野記念美術館

丹波市氷上町西中 615-4
TEL0795-82-5945
<http://edu.city.tamba.hyogo.jp/ueno/>